

中小のDX支援強化

三重県、指南の法人公募

相談センター開設も

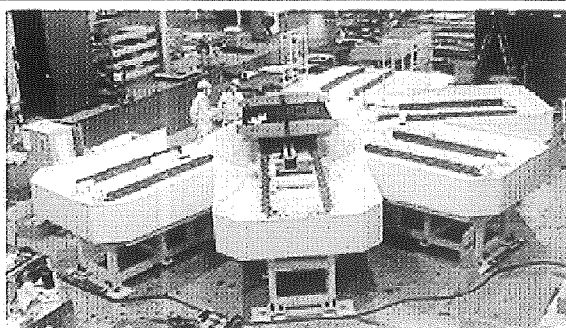
三重県は中小企業がデジタルトランスフォーメ

ーション(DX)を進める際の支援事業を拡充する。指南役で事業に協力してもらおうIT(情報技

県はものづくり5社にDX推進の補助金を交付する

企業名	対象の取り組み
岩崎工業(松阪市)	ペーパーレス化など
エバ工業(東員町)	生産計画のシミュレーションなど
中村製作所(四日市市)	見積書のデータベース化
ナベル(伊賀市)	動画機能を活用した人材育成
松井機工(玉城町)	製造工程データの一元管理

術)やコンサルタント系の法人サポーターを募り、一本化して手厚い支援を目指す。新型コロナウイルスの経済対策で2年目の補助金の公募枠を非製造業にも広げ、相談センターを開設する考えだ。



DXによる職場改革を推進するエバ工業(三重県東員町)

県の事業協力を目的に「サポーターینگパートナーズ(仮称)」の登録制度を導入する。専門支援員の法人版で、個別データを分析して生産や経営の課題を洗い出し、DXの計画を後押しする。ものづくり産業振興課は「東京のITやコンサル系を中心に公募し、夏ごろから法人サポーターの活動を始めたい」としている。

設。公募審査の結果、製造業5社を交付先に選んだ。

錠前部品メーカー、松井機工(玉城町)は県の補助金を活用し、多品種小ロットの製造工程をプログラム管理する。「DXは時代の流れ」と3代目の森里恵社長。20万円の初期投資が従業員8人のものでづくりの幅を広げた。三重大学との共同研究の相乗効果で医療機器分野の参入を狙う。

業に弾みがつくなか、マンパワー経営では生き残れない(山添卓也社長)とDXによる効率化に注

力。産業機械メーカー、エバ工業(東員町)の中村研社長は「品質の保証は取引先にもメリット」と社内改革の先頭に立つ。県は21年度の補助金の公募枠を10社に倍増し、サービス業などの非製造業を対象に加えた。公募による民間出身の専門支援員を配置し、オンラインを活用した相談センターを新設する。産学官に金融機関を加えた4者連携で四日市市に拠点を整備したい考えだ。